

事業項目詳細

スポーツ振興

「関西スポーツ振興ビジョン」実現および
WMG2021関西のレガシー創出に向けた取り組み

主な実施内容

- 2018年7月に策定した「関西スポーツ振興ビジョン」の実現に向け、経済団体・自治体・スポーツ関係団体・大学等が一堂に会する「関西スポーツ振興推進協議会」幹事会を開催した（7、12月）。活動実績を報告するとともに、今後の取り組みについて意見交換を行った。
- 関西広域連合と合同で第3回「関西スポーツ応援企業表彰」を実施し、スポーツを通じて従業員の健康増進や地域経済の活性化に貢献している企業5社を表彰した（2月）。
- スポーツ参加人口の拡大を図るため、東大阪市や和歌山県、関西広域連合が主催するスポーツイベント等に対し「アスリート派遣テスト事業」を実施（10、11、12月）、効果を検証し、課題を抽出した。
- トップアスリート育成のための取り組みの一環として、大阪大学、大阪体育大学、立命館大学、和歌山県立医科大学、京都トレーニングセンターの参加・協力を得て、競技力向上のための「医科学支援テスト事業」を実施、効果を検証し、課題を抽出した。
- 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、2026年5月開催を目途に再延期する方針が決定された「ワールドマスターズゲームズ（以下、WMG）2021関西」について、引き続き、WMG2021関西組織委員会をはじめとした関係団体と連携し、機運醸成やレガシー創出に向けた取り組みを実施していく方針を確認した。

文化の継承と発展・都市魅力向上

関西各地の歴史・文化等の関西ブランドの発信および
都市魅力の向上への支援

- 関西観光本部、関西広域連合、歴史街道推進協議会と連携し、地域の観光情報コンテンツ作成事業等を推進した。
- 歴史街道推進協議会設立30周年事業として、30周年記念フォーラムを共催し、歴史街道推進協議会の今後のあり方などについて有識者によるパネルディスカッションを実施した（11月）。
- 文化を通じて関西から日本を明るく元気にすることに貢献した人・団体に対し贈呈する「関西元気文化圏賞」の第19回贈呈式を行う（1月）など、関西の文化振興に資する活動を展開した。

Topics

生涯スポーツイベントへのアスリート派遣テスト事業の実施

スポーツイベントの魅力向上、スポーツ参加者の裾野拡大を目的として、関西各地の府県市等が実施するスポーツイベントに企業所属のアスリート・元アスリートを派遣するテスト事業を3件実施した。

2021年10月には、東大阪市主催の初心者向け体験型スポーツイベント「してみる」において、V.LEAGUEに加盟する女子バレーボールチーム「JTマーヴェラス」のOGの協力を得て、小学校1～3年生を対象とするバレーボール体験教室を開催した。また、11月には、関西広域連合主催の「関西小学生スポーツ交流大会 タグラグビー大会」において、JAPAN RUGBY LEAGUE ONEに加盟するラグビーチーム「花園近鉄ライナーズ」の協力を得て、エキシビジョンマッチ・交流会を開催した。加えて、11月および12月の計2回、和歌山県主催の「和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト」において、住友電気工業陸上競技部の協力を得て、小学校6年生～中学校3年生に対し、走り方等のアドバイスや実技披露を行った。

今後は、スポーツイベントを主催する自治体との窓口機能を務める関西広域連合と連携し、事業の継続・拡大実施に取り組んでいく。



初心者向け体験型スポーツイベント「してみる」



関西小学生スポーツ交流大会 タグラグビー大会



和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト

ジュニアアスリートの競技力向上のための医科学支援テスト事業の実施

将来、国際大会等での活躍が期待されるジュニアアスリートの競技力向上を図るため、大阪大学医学部、大阪体育大学、立命館大学健康スポーツ科学部、和歌山県立医科大学げんき開発研究所、京都トレーニングセンターの参加・協力を得て、医科学支援テスト事業を実施した。

2021年度は、医科学測定会（各府県体育・スポーツ協会から推薦のあったジュニア選手20名に対する測定会の開催とフィードバック）を計3回実施するとともに、新たに医科学サポートプログラム（医科学測定会参加者のうち、測定結果や競技成績が特に優秀な選手7名を選考し、選手・指導者のニーズを踏まえ総合的に支援）を実施し、その効果を検証するとともに、課題を抽出した。



医科学測定会